

「基本理念」「患者さんの権利と責務」について

副院長兼耳鼻咽喉科部長兼
医療安全部長

上田 幸夫



2012年新年の「けんびょういん」発行に当たり、昨年病院機能評価も無事に終わり認定されることになりましたが、その際何度も質問された当院の基本理念と患者さんの権利について考えてみました。

基本理念について

まず、基本理念は「安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます」ですが、非常にわかりやすい表現

基本理念

安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます。

行動指針

- 1 わかりやすい言葉で、分かりやすく説明します。
- 2 安全を何度も確認することを怠りません。
- 3 常に高度先進医療を取り入れ、最新・最高の医療を目指し自己研鑽に努めます。
- 4 倫理観に基づく医療人としての誇りと自覚をもって取り組みます。
- 5 健全経営に努めます。

患者さんの権利と責務

医療は、患者さんと医療従事者との信頼関係の上に成り立っています。当院では、患者さんに信頼され、安心して受診していただき、よりよい医療を提供できるように、患者さんの権利と責務について、以下のように考えています。ご理解の上ご協力をお願いします。

患者さんの権利

- ①皆さんが平等かつ公平に、安全で最良の医療を受けることができます。
- ②ご自身の病状や治療について、納得できるまで説明を受けることができます。
- ③ご自身の治療内容について、治療方法を選択または拒否することができます。
- ④ご自身の診療にかかわるすべての情報の開示を求められます。
- ⑤セカンドオピニオン（別の医療機関、他の医師の意見）をいつでも求めることができます。（癌についてのセカンドオピニオンは、事前に予約が必要です。）
- ⑥個人情報保護され、プライバシーは尊重されます。

患者さんの責務

- ①ご自身の病歴、薬歴、症状などの健康に関する情報は、できるだけ正確にお伝えください。
- ②治療などの説明について十分納得された上、選択された治療方針に沿って治療に専念してください。
- ③全ての患者さんが、適切な療養環境で治療に専念できるよう、社会的ルールや病院の規則を守り、職員の指示に従ってください。
- ④適切な医療を維持していくために、医療費を滞滞なくお支払いください。
- ⑤当院では、臨床研修施設として研修医、実習生、救命士などが医療に参加することをご理解ください。

職場の環境や待遇の改善、職員の教育などで意識されていくものです。最近では、患者さんからの意見箱でも少しづつ褒められたり、感謝されることが増えてきました。

では、安全はどのように保障されているのでしょうか。毎日多くの患者さんに多くの医療行為がなされており、人が行う行為の中には間違いが起きることは避けられません。「人は過ちを犯すもの」という観点から、医療安全全部が活動しています。専従の医療安全管理者と5名のスタッフが毎月200件以上のインシデントレポートを集計して、重大な事故を未然に防ぐ（1件の重大な事故には29の軽い事故、300のインシデントがあるというハイインリッヒの法則）ために検討し対策などを立てています。その他安全に関する情報（機能評価機構やPMDAからの情報や医療事故の報道など）を共有できるように収集して院内に周知しています。また、年に2回の全職員を対象とした研修会や、看護部などを中心に小グループでの研修会を開催して、安全な医療ができるように努めています。

患者さんの権利と責務について

最近では医療の質の向上についていろいろ検討されています。医療の質とは新しい機器や技術を取り入れ、また医療者がその知識・技術を高め、いくことも重要ですが、医療者と患者さんとの信頼関係を高め、共に病気に立ち向かうためのパートナーシップが築かれることが大切であると考えられています。元来医療とは、医師や看護師、薬剤師、放射線技師など医療従事者が患者さんとの信頼

の下にメスで傷をつけたり、針を刺して採血や点滴をしたり、劇薬や麻薬を投与し、放射線による検査を安全に行うことで病気の患者さんに有利なことを行うものです。しかし、その中には、副作用や合併症など不確実な部分がたくさんあることも事実です。日本では全ての国民がどこにいても標準的で精度の高い治療を受けられることが求められています。当院では、そのような中で患者さんとの信頼関係を築くため患者さんの権利と責務について別表のように定めています。

患者さんの権利については、世界医師会から1981年に患者の権利に関するリスボン宣言が出されました。その後2005年に改訂されています。その内容は、1、良質の医療を受ける権利、2、選択の自由の権利、3、自己決定の権利、4、情報に対する権利、5、守秘義務に対する権利、6、健康教育を受ける権利、7、尊厳に対する権利などです。

その精神に基づいて当院なりに検討して2010年に改訂しました。権利の①では病院の理念と良質な医療を受けられること、②③では説明を受け、自己決定の権利などについて述べています。

また患者さんの責務については、①はできるだけ正確な情報を示していただくことをお願いしています。かかりつけ医からの紹介状や、お薬手帳などを持参していただくことを勧めます。そして、医療者と患者さんとの信頼関係を築き、よりよい医療を提供するために基本理念、患者さんの権利と責務について理解していただくことが重要と考えます。

高精度放射線治療センターを建設中です

高精度放射線治療センター 平成24年秋オープン予定

当院は、地域がん診療連携拠点病院としての責任と、地域から期待される医療需要に応えることを目的として、がん治療成績の向上と患者さんの負担を軽減する高精度放射線治療システム（下記参照）を導入することとしました。

このシステム
の導入にあたり、
新たに高精度放
射線治療センタ
ーを建設してい
ます。

放射線治療室
の他に治療計画
用CT撮影室、
診察室、処置室、
面談室などを備
え、間接照明や
採光用の窓を設
けた木調内装で、
温かみと安心感
のある待合いな
ど、患者さんが
快適に放射線治
療を受けていた
だけの設計とな
っています。

| 工 程 | 日 程 (予定) |
|------|---------------------|
| 工 期 | 平成23年9月1日 ~ 平成24年5月 |
| 機器搬入 | 平成24年5月 |
| 運用準備 | 平成24年5月 ~ 平成24年秋 |
| 運用開始 | 平成24年秋 ~ |



高精度放射線治療システム「ノバリスTx」



高精度放射線治療センター完成イメージ図

高精度放射線治療システム

新たに導入する機器は、RAINLAB（ブレインラボ）社製「ノバリスTx」です。

頭部、頸部だけでなく脊椎や肺臓、前立腺等の体幹部の腫瘍にも適用が可能で、最先端の次の機能により正常組織への照射を低減できるなど、患者さんの負担を大幅に軽減することができます。

○高い線量率：定位放射線治療や呼吸同期による間欠照射などにおいて、治療時間を大きく短縮

○腫瘍に限局した照射野の形成：業界最薄クラスのマルチリーフ（多分割の照射野絞り）により、腫瘍の形状に合わせた照射野を形成

○画像誘導放射線治療：6軸回転軸補正が可能な画像誘導機能により、照射部位の正確な位置合わせを行いピンポイントで放射線を集中

○強度変調放射線治療：理想的な線量分布による照射により、副作用を低減

○呼吸同期照射：呼吸による動きに対応した間欠照射

この機器は、2007年9月に欧米で発売され、日本国内でもトップレベルの医療施設に導入及び導入が決定されています。

岐阜県内においては現在2施設のみで、東濃地域では初の導入となります。

リニューアルした施設のご案内

内視鏡室

新病棟へ移転した薬剤部の跡地を利用し、平成23年7月に内視鏡室を移転・拡充しました。今まではカーテンで仕切られただけであった内視鏡室が、1検査室ごとに独立した部屋となり、患者さんのプライバシーに配慮した、使いやすい内視鏡室となりました。検査室は3室あり、1日約20件の検査が行われています。



中央点滴センター

内視鏡室の整備と同時に新たにオープンした中央点滴センターでは、外来患者さんへの点滴を一括して行います。今までは各外来診療科の処置室で行っていた点滴を当センターで行うことにより、外来診療科の混雑が緩和され、より安全に点滴を行うことができるようになりました。

「県立多治見病院 秋まつり」を開催しました！

有志による手作りの秋まつり

平成23年11月13日に第1回目となる「県立多治見病院秋まつり」を開催しました。

秋まつり開催の話が持ち上がったのは今年の夏、1つの職員提案がきっかけでした。秋まつりの開催が正式に決定すると、有志による「秋まつり実行委員会」が立ち上げられました。実行委員会のメンバーは職種の枠を超え、また年齢の垣根を超え自由な意見をぶつけ合いました。その根底にあったのは、実行委員全員に共通した「秋まつりをより多くの方に楽しんで貰いたい」、「多治見病院をもっと好きになって貰いたい」の思いでした。準備は約3ヶ月間に及び、実行委員会以外にも職員の有志が、日々の業務の合間を縫って準備を進めていきました。

職員も来場者も一緒に盛り上がりました

当日は、病院長による開会宣言で幕を開けました。メインステージ最初の出し物は総勢32名の看護

師で結成した「KTB48」によるダンスでした。忙しい業務の中1ヶ月前から練習したというダンスは、お揃いの衣装も相まって、華やかで大変な盛り上がりとなりました。参加した看護師からは「少ない練習時間の中で、徐々に皆の動きが揃ってくるのが楽しかった。」「緊張したけど楽しかった。」「緊張した声も聞かれました。」

また、メインステージでは、クイズ大会、太鼓や三味線の演奏、抽選会など、多彩な催しが行われ、最後を飾ったバサラ瑞浪による鳴子踊りでは、出演者・来場者・スタッフが一続きになり、会場全体で盛り上がりました。

会場の一面では子供向けのミニゲームを多数用意した「子ども広場」も好評でした。地域の子供達と職員が触れ合う姿が数多く見られ、子供達の楽しそうな顔が印象的でした。

展示ブースでは「緩和ケア病棟」や「新放射線治療装置」を紹介する展示を行い、多治見病院の取り組みをより多くの方に知ってもらうことができました。

秋まつり終了後、来場者からは沢山の「楽しかった」との言葉をいただきました。今回の祭りをきっかけに、益々住民に愛される多治見病院を目指していきたいと考えられています。



秋まつりメインステージの様子（左：バサラ瑞浪、右：KTB48）



平成23年10月から中央採血室が移転しました。場所は旧内視鏡室のあった所です。新採血室は広くなり、採血場所を5席から6席に増やすことができました。採血後、エアシューターで速やかに検査室へ搬送しています。

また採尿のためのトイレや、採痰室も内部に備えています。待合室・採血室ではBGMを流しリラククスしていただけるようにしています。これからも安全で迅速な採血ができるよう努めて参ります。

中央採血室



薬剤部から

栄養サポートチーム(NST) 専門療法士の認定を受けました

NST専門薬剤師になるべく2010年12月から約2ヶ月間、一宮市立一宮市民病院での研修を受け、2011年11月NST専門療法士認定試験に合格しました。当院NSTメンバーの管理栄養士1名、看護師1名も同じく認定試験に合格し認定を受けました。

NST:nutrition support team(栄養サポートチーム)とは医師の他、看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・言語聴覚士などのコ・メディカルスタッフでチームを作り、入院中の個々の患者さんに合った栄養摂取方法、栄養経路の提案や栄養改善を目的として活動する医療チームのことをいいます。

当院は2004年からNST活動を開始し2010年10月にNST加算認可を受けました。食事の摂取量が少なかったり、飲み込みに障害があったり、食事が摂取できないことで栄養状態が不良になっている患者さんを中心に、状況に応じて回診を行い、より専門性を深めた栄養サポートを入院患者さんに提供できるよう取り組んでいます。

薬剤部では現在2名の薬剤師がNSTを担当しています。NSTの中で薬剤師は主に、経腸栄養・

静脈栄養が適切なバランスで投与されているかをチェックし、さらに栄養剤と薬の相互作用や副作用をチェックすることで、患者さんの不利益を未然に防ぐ努力をしています。NSTメンバーはさまざまな職種が集まっているため、多面的に栄養不良の原因を探ることが可能です。お互いの職能を發揮し、情報共有することで患者さんに対してより良い医療の提供を心がけています。今後も薬剤師としての専門知識を生かした栄養療法への支援に取り組んでいきたいと思っています。

薬剤師 佐野 彩女



NST回診の様子

看護部から

中4階病棟・透析室のご紹介

透析室は中4階病棟にあり、腎臓内科医師3名と病棟の看護師、臨床工学技士3名が透析治療にあたっています。

当院での透析は①透析治療自体が初めてで当院で始めたばかりの方、②もともと透析治療をしていて、手術や専門的な治療が必要で入院となった方を中心に対応しています。透析治療のほかには、血漿交換、白血球除去療法、末梢血幹細胞採取、腹水濃縮など、さまざまな特殊な治療にも取り組んでいます。

透析を受けておられない方々にとっても、この地域に透析を行える大規模な病院があることはとても重要です。腎機能は思いがけずに悪化するものがあり得るため、バックアップとして透析が行える設備、スタッフが充実していることは、治療を受ける側・行う側双方にとって安心していただける一つの要件になるからです。私たちは重要な役目を担っていることを自覚して、よりよい医療が提供できるように努力していきたいと思っています。

透析治療を初めて受けられる患者さんも、手術などで入院となった透析患者さんも、

多くの不安をかかえておられるだろうと思います。透析を始める患者さんには、透析についての正しい知識を得てもらえるようにします。別の病気で入院された患者さんには、透析を行うだけではなく、治療の中で透析の専門家としての積極的な調整役もしております。もし入院して透析室にいられた際には、できるだけ不安を取り除けるように、スタッフ一同細心の注意を払うよう心がけています。



がん患者サロン「ほっとサロン」のご紹介

がん患者さん、ご家族の方を精神的にサポートするがん患者サロン「ほっとサロン」をオープンしました。
がん患者さん、ご家族の方が温かくリラックスした雰囲気でお話できるよう「ほっとサロン」と名前を付けました。



「ほっとサロン」は、東病棟1階通用口付近(防災センター隣)にあります。利用時間は、毎週、火曜日、水曜日、木曜日(祝日は休みの)の午前10時から午後3時まで、利用料は無料です。
「ほっとサロン」には、ピアサポーター(がん治療体験を持ち、一定の研修を受けた相談員)が常駐しています。

告知、手術、抗がん剤治療など苦しい闘病生活において、悩みや不安、情報を交換することは、がんと上手く付き合い、生活を送るために、がん克服への勇気を与えることができることがあります。また話すことでほっとすることもできます。ぜひお気軽にお立ち寄り下さい。お待ちしております。



「ほっとサロン」には、がんに関する各種冊子・リーフレット、情報検索用パソコン、図書コーナーなどがあります。緩和ケア病棟の施設見学も受け付けます。
また、がん患者会「れんげの会」を毎月第4金曜日(祝日は休みの)午後1時30分より開催しております。誰でも参加は自由です。
がん患者さん、ご家族の方が住み慣れた場所で、安心して治療が受けられるよう、がんになっても安心して暮らせる地域をめざして、これからも「ほっとサロン」でサポートしていきます。

「ピア(Peer)」とは
“同じ立場”

「サポート(Support)」とは
“支える、援助する”という意味があります。

お問合せ先

0572-22-5311 (内線2485)

地域医療連携センター

「ほっとサロン」ピアサポーター 西尾 守

編集後記

広報誌「けんびょういん」25号をお届けしますが、その後も高精度放射線治療センターの整備や秋まつりの開催など、新しい取り組みを実施していきます。これからも、常に進化し続ける病院を目指して参りたいと思います。

広報委員会事務局(経営企画課経営企画担当)

総合案内コンシェルジュのご案内

看護師OGによる、総合案内コンシェルジュを紹介します。

主な業務内容は、患者さんからの受診科相談や、受診手続き、会計のお手伝いなどです。

また、身体の不自由な患者さんが来られた時には、受診科までの車椅子移送などのお手伝いをしています。

受診時、お困りのこと、心配なことがありましたら、いつでも気軽に、声をかけて下さい。



総合案内コンシェルジュ
宮島 典子さん

外来診療表

平成24年1月1日現在

| 診療科目 | 初診・再診別 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
|----------|----------|----------------------------|-----------------------|--------------------------|--------------------------------|--------------------------|-----|
| 内科 | 初診 再診 | 消化器内科 | 佐野 | 西 | 奥村 | 水島 | 吉村至 |
| | | | 奥村 | 夏目 | — | 西江 | 佐野 |
| | | | 加地 | 水島 | 吉村至 | 西 | 福定 |
| | 初・再診 | 循環器内科 | 日比野 | 横井 | 矢島 | 横井 | 森本 |
| | | | 堀部 | 前川 | 稲垣尚 | 日比野 | 矢島 |
| | | | 蜂矢 <small>午前</small> | — | 堀部 <small>午前</small> | 森本 | 森賢 |
| | | | 小野 <small>午後</small> | — | [P-スケーター] 外来 <small>午後</small> | — | — |
| | | リウマチ科 | — | 横田 <small>午前</small> | — | — | — |
| | | 腎臓内科 | — | 鈴木 <small>代務医 午前</small> | 富田貴 | — | — |
| | 初診 再診 | 内分泌内科 | 小澤 <small>隔週</small> | — | — | — | — |
| | | | 佐藤斗 <small>隔週</small> | — | — | — | — |
| | | | 近藤 | 小澤 | 佐藤斗 | 近藤 | 小澤 |
| 初診 再診 | 呼吸器内科 | 加藤久 | — | 加藤研 | 志津 | 小林 | |
| | | 志津 | 小林 | 加藤久 | — | 加藤研 | |
| 神経内科 | 初診 再診 | 北澤 | 亀山 | 北澤 | 末永 | 中敷 | |
| | | 末永 | — | — | — | — | |
| 整形外科 | 初診 再診 | 水野直 | 高津 | 伊藤茂 | 高津 | 山本拓 | |
| | | 長谷川 | 安藤 | 熊澤 | 後藤 | 中野健 | |
| 形成外科 | 初診・再診 | 吉村真 <small>第1・3・5週</small> | 風戸 | 吉村真 | 吉村真 | 風戸 | |
| | | 風戸 <small>第2・4週</small> | — | — | — | — | |
| 眼科 | 初診・再診 | 伊藤孝 | — | 伊藤孝 | 伊藤孝 | 伊藤孝 | |
| | | 子安 | 子安 | — | 子安 | 子安 | |
| 放射線科 | 初診・再診 | 小山 | 中原 <small>午前</small> | 小山 | 小山 | 小山 | |
| | | — | 小山 <small>午後</small> | — | — | 師生検 古池 <small>午後</small> | |

| 診療科目 | 初診・再診別 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------------|-------------|---------|-------|-----------------------|---------------------------|----------------------------|
| 精神科 | 初診 | 高田 | 高田 | 中村博 | マイケル | 中村博 |
| | 再診 | マイケル | 中村博 | 高田 | 中村博 | 高田 |
| 小児科 新生児内科 | 初診・再診 | 中野慕 | 中野正 | 立木 | 中野正 | 立木 |
| | | 石田 | 荒川 | 中野慕 | 荒川 | 谷口 |
| | 午前 特別外来 | [心臓] | [初再診] | [相談] | [初再診] | [神経] |
| | | 荒川 | 三沢 | 中野正 | 向井 | 濱口 |
| | 午後 特別外来 | [1ヶ月検診] | [心臓] | [川崎病] | [相談] | [神経] |
| | | 向井 | 荒川 | 中野正 | 中野正 | 濱口 |
| 外科 | 初・再診 | 水野亮 | 水野亮 | 小西 | 梶川 | — |
| | | 小西 | 原田 | 出口 | 多代 | 宮嶋 |
| | 乳腺 内分泌外科 | 吉田 | 大野 | 園原 <small>(再)</small> | — | 大野 |
| | | 宮嶋 | 多代 | — | 多代 | 宮嶋 |
| | 心臓血管外科 | — | — | [血管] 地山 | — | — |
| | | — | — | 桑原 | 桑原 <small>午前</small> | — |
| 呼吸器外科 | 伊藤正 | — | — | — | 伊藤正 | |
| 脳神経外科 | 初診・再診 | 代務医 | 伊藤淳白 | 杉田 | 伊藤淳島 | 担当医 |
| 麻酔科 | 初診・再診 | 間淵・山崎 | 稲垣雅 | 山田寛 | 安井 | 衣笠 |
| 皮膚科 | 初診・再診 | 石川 | 石川 | 石川 | 石川 <small>第2・4週</small> | 石川 |
| | | 紀平 | 紀平 | 紀平 | 紀平 <small>第1・3・5週</small> | 紀平 |
| 泌尿器科 | 初診・再診 | 高士 | 桃井 | 高士 | 高士 <small>(再)</small> | 桃井 |
| 産婦人科 | 再診 | 初診 | 竹田 | 中村浩 | 山田純 | 森正 |
| | | 婦人 | 中村浩 | 森正 | 竹田 | — |
| 耳鼻咽喉科 | 初診・再診 | 富田 | 加藤賢 | 上田 | 森遥 | 加藤賢 <small>第1・3・5週</small> |
| | | 子安 | 子安 | — | 子安 | 子安 |
| 歯科 口腔外科 | 初診・再診 | 富田 | 加藤賢 | 上田 | 森遥 | 加藤賢 <small>第1・3・5週</small> |
| | | 富田 | 加藤賢 | 上田 | 森遥 | 加藤賢 <small>第2・4週</small> |
| 緩和ケア内科 | 初診・再診 | 佐藤文 | 堀田 | 宮本 | 佐藤文 | 宮本 |
| | | 宮本 | 宮本 | 佐藤文 | 宮本 | 佐藤文 |
| 女性外来 | 初診・再診 | — | — | — | — | 松下 |

■診療時間 午前9時～(診療科によっては午前8時30分～)
 ■休診日 土・日・祝祭日、及び年末年始(12月29日～1月3日)
 ※予約のない方の診療受付時間 初診・再診 午前8時30分～午前11時
 ※各診療科担当医師については、都合により代診させていただく場合があります。また、異動により担当医師が変更する場合があります。
 ※救急診療については、救急外来受付(内線2486)まで、お問い合わせください。

外来診療の電話予約について

混雑緩和と利便性向上のため外来診療は予約制としております。継続して診療を受けておられる患者さんには、診察時に次回の予約をしていただきます。予約を保留された場合やしばらく受診のない場合は、電話予約のうえ来院ください。

予約専用電話 0572-21-2200

電話予約受付時間 当日の予約(平日) 8:30~11:00
 翌日以降の予約(平日) 13:30~16:30

※診察券の患者番号をお知らせください。
 ※診察券のない初診患者さんは、電話での予約はできません。
 ※診療機関からの紹介患者さんについては、診療機関から当院医療連携室へご連絡ください。

初診患者さんのFAX・電子メール予約について

当院の受診歴のない方でも、次の項目をFAXまたは電子メールで送信いただければ予約できます。
 ①氏名(漢字とフリガナ) ②性別 ③生年月日 ④住所と郵便番号
 ⑤電話番号(自宅及び連絡先電話番号)
 ⑥健康保険の種類・保険者名・記号・番号(保険証記載のもの) ⑦受診希望診療科名
 ⑧受診希望日時 ⑨紹介状(診療情報提供書)の有無

初診予約用FAX 0572-21-1022
 初診予約用電子メール yoyaku@tajimi-hospital.jp

電話予約センターから折り返し電話確認をし、登録完了となります。
 ※FAXや電子メールの折り返しの電話は電話予約センターの受付時間内となります。また、送信されてもすぐにご連絡できない場合があります。万が一電話予約センターから連絡がない場合(休日以外の日で24時間以上ない場合)は、予約専用電話でお知らせください。